

令和 5 年度

学校評価



上尾市立上尾中学校

令和5年度 上尾市立上尾中学校学校評価

上尾市立上尾中学校
校長 増田 司

1 総合得点及び評価について

質問項目のA～Dは回答者の割合を示した。A～Dの評価内容は、以下のとおりとした。

A=よくできた B=まあまあできた
C=あまりできなかった D=できなかった

平均得点について、A=4点 B=3点 C=2点 D=1点 とし、それぞれの数を乗じて総数で除した。

2 本年度の重点取組事項

(1) 基礎学力及び基礎的・基本的な学力の定着を図るとともに、主体的・対話的で深い学びを推進する。

- ICTを活用した学校行事の工夫や授業改善・工夫を積極的に進める。
- 提出物指導、補充的な補修学習指導、フォローアップウィークを充実させる。
- SDGsの視点を取り入れたシティズンシップ教育を系統的に推進する。

(2) 教育相談体制を機能させ、きめ細かい丁寧な不登校対策を推進する。

- 生徒、保護者の立場に立った、きめ細かい丁寧な相談を行う。
- 教育相談委員会を中心として情報共有を進め、学校全体で組織的に対応する。
- 関係機関、SSW、校内専門スタッフと連携を密にして、個々の状況に応じた必要な支援を実施する。

(3) 市民・県民に誇れるコミュニティ・スクール上尾中の取組を推進する。

- コミュニティ・スクールとしての積極的な情報発信を工夫する。
- 学校と地域が共通の目標実現を目指し、協働活動を工夫する。

(4) 静かで、きれいで、温かい学校生活を維持・発展させる。

- いじめの早期発見、早期対応を行い、誰もが安心できる学習環境を築く。
- きれいな黒板、整った机、きれいな窓、ゴミのない床、整った靴箱を維持する。

- 生徒も教師も、進んであいさつ・返事を行う。

(5) 自らの働き方を見直し、持続可能で健全な職場をみんなで創る。

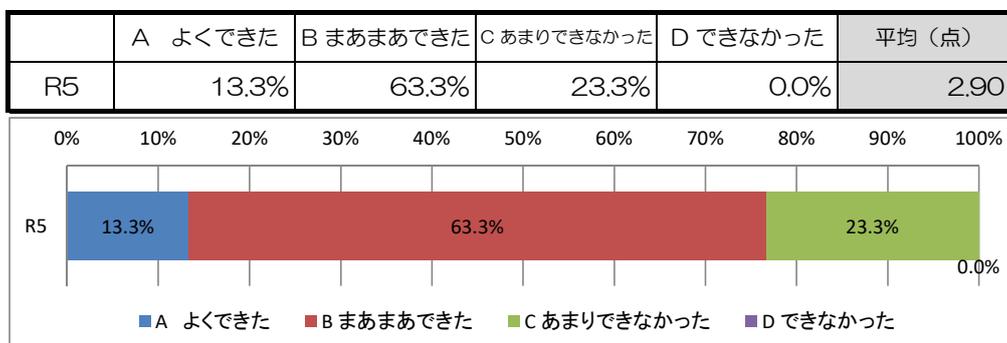
- 計画的に休暇を取得し、積極的な健康管理を行う。
(特に、年休5日以上、リフレッシュ休暇・マイリフレッシュの完全取得)

- 時間外在校等時間を意識し、自らのワークライフバランスを見直す。
- 業務の負担軽減のため、会議の効率化、教育活動の見直し・改善を進める。

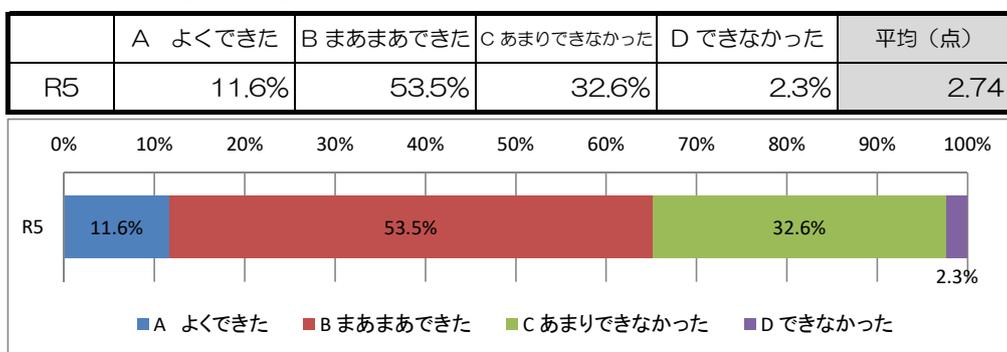
令和5年度 自己評価(職員)

項目1～4: ①学力の定着、主体的・対話的で深い学び

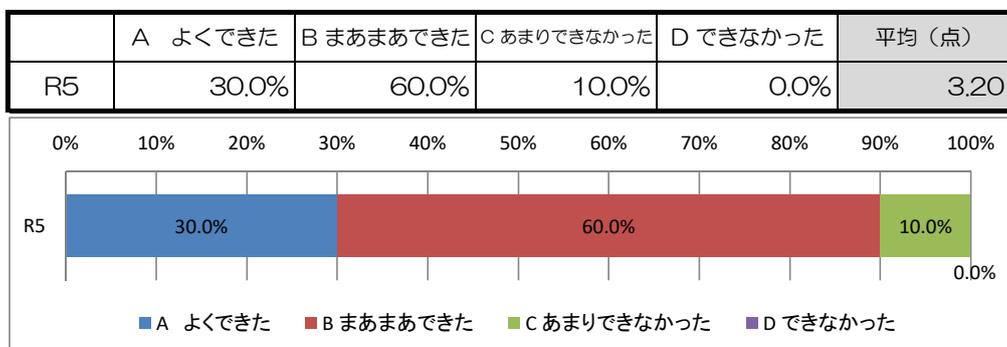
1 ICTを活用した学校行事の工夫や授業改善・工夫を積極的に進める。



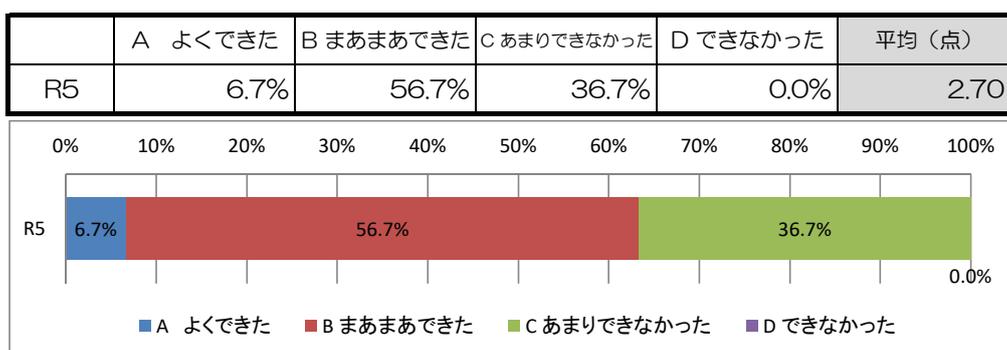
2 家庭学習の定着を推進する。



3 提出物指導、補充的な補修学習指導、フォローアップウィークを充実させる。



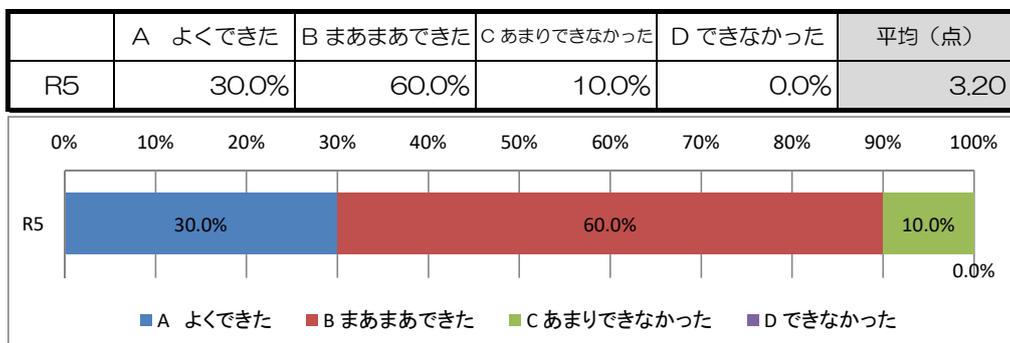
4 SDGsの視点を取り入れたシティズンシップ教育を研究・推進する。



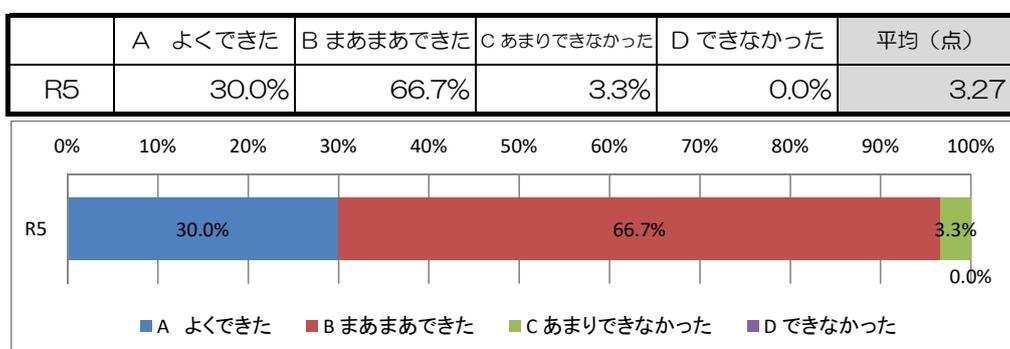
令和5年度 自己評価(職員)

項目5～7: ②教育相談体制

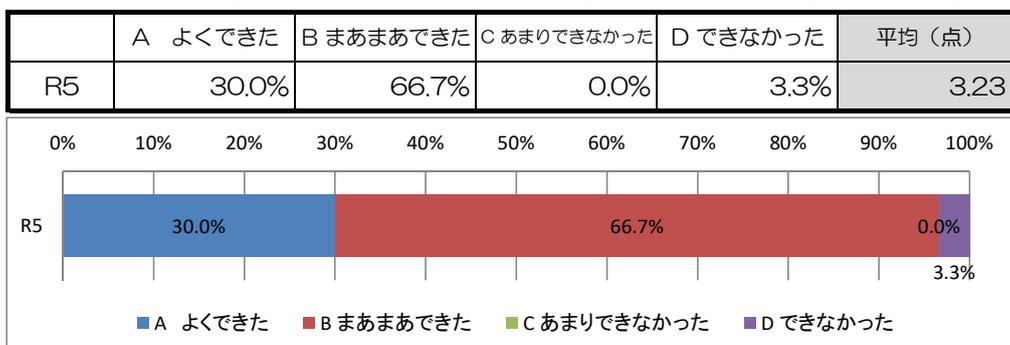
5 生徒、保護者の立場に立った、きめ細かい丁寧な相談を行う。



6 教育相談委員会を中心として情報共有を進め、学校全体で組織的に対応する。

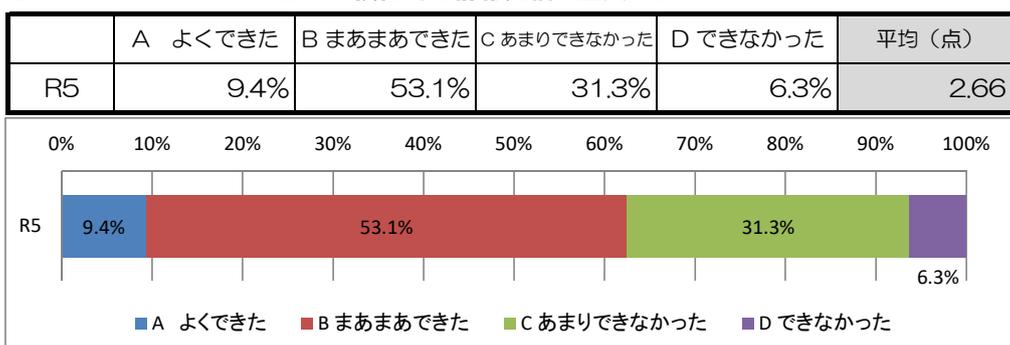


7 関係機関、SSW、校内専門スタッフと連携を密にして、個々の状況に応じた必要な支援を実施する。



項目8・9: ③コミュニティ・スクール

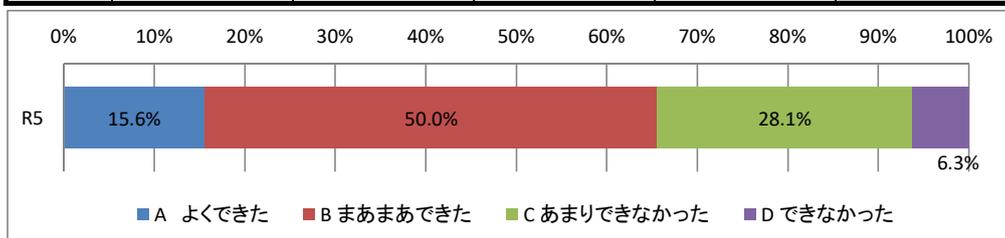
8 コミュニティ・スクールとしての積極的な情報発信を工夫する。



令和5年度 自己評価(職員)

9 学校と地域が共通の目標実現を目指し、協働活動を工夫する。

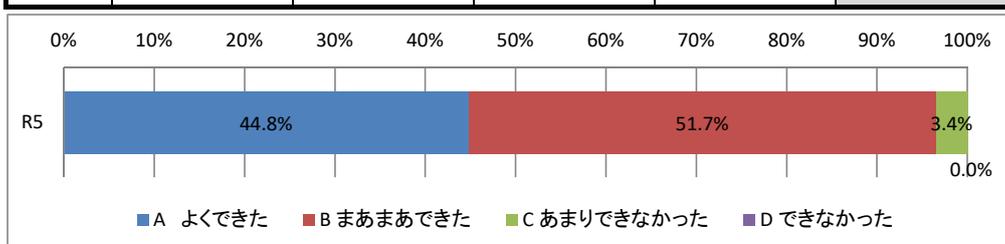
	A よくできた	B まあまあできた	C あまりできなかった	D できなかった	平均(点)
R5	15.6%	50.0%	28.1%	6.3%	2.75



項目10～12: ④静かで、きれいで、温かい学校生活

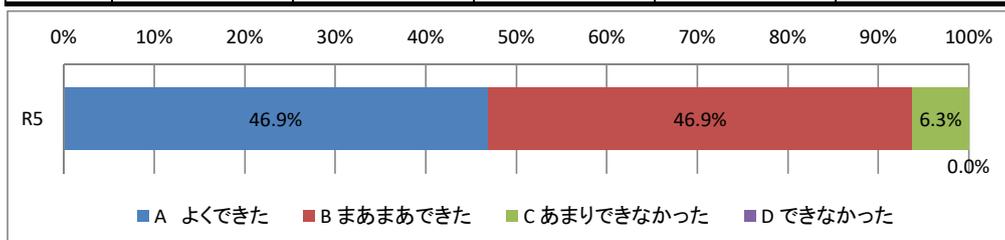
10 いじめの早期発見、早期対応を行い、誰もが安心できる学習環境を築く。

	A よくできた	B まあまあできた	C あまりできなかった	D できなかった	平均(点)
R5	44.8%	51.7%	3.4%	0.0%	3.41



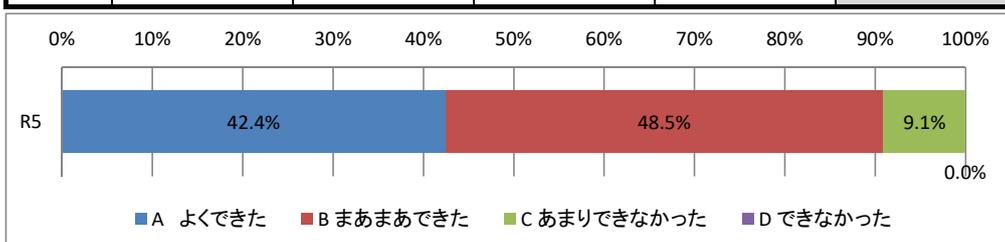
11 きれいな黒板、整った机、きれいな窓を維持する。

	A よくできた	B まあまあできた	C あまりできなかった	D できなかった	平均(点)
R5	46.9%	46.9%	6.3%	0.0%	3.41



12 生徒も教師も、進んであいさつ・返事を行う。

	A よくできた	B まあまあできた	C あまりできなかった	D できなかった	平均(点)
R5	42.4%	48.5%	9.1%	0.0%	3.33

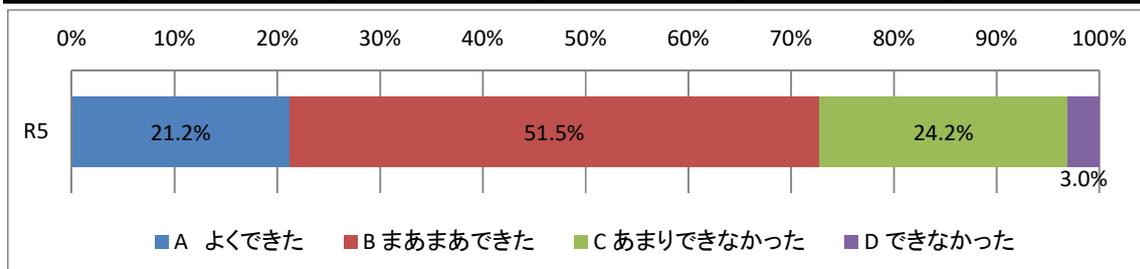


令和5年度 自己評価(職員)

項目13・14: ⑤健全な職場

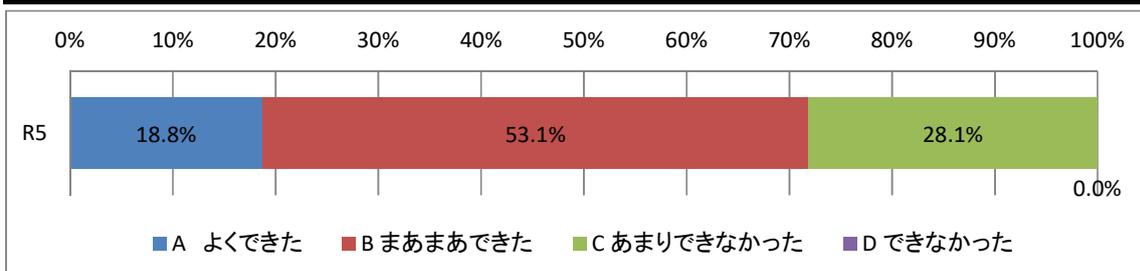
13 自らのワークライフバランスを問い直し、積極的な健康管理を行う。

	A よくできた	B まあまあできた	C あまりできなかった	D できなかった	平均(点)
R5	21.2%	51.5%	24.2%	3.0%	2.91



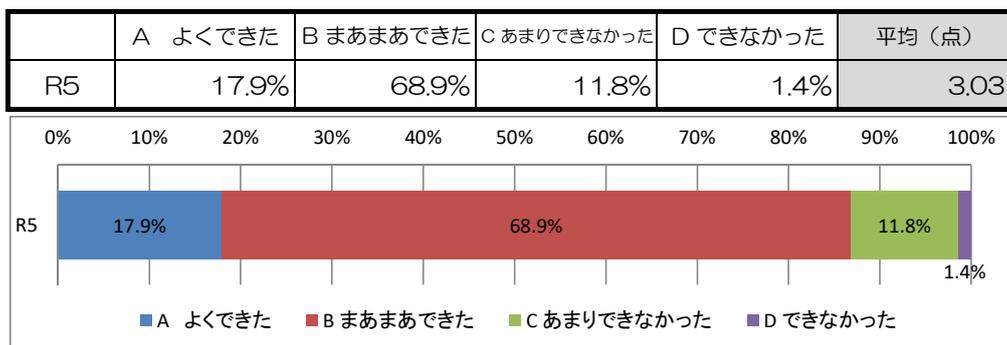
14 業務の負担軽減のため、教育活動の見直し・改善を進める。

	A よくできた	B まあまあできた	C あまりできなかった	D できなかった	平均(点)
R5	18.8%	53.1%	28.1%	0.0%	2.91

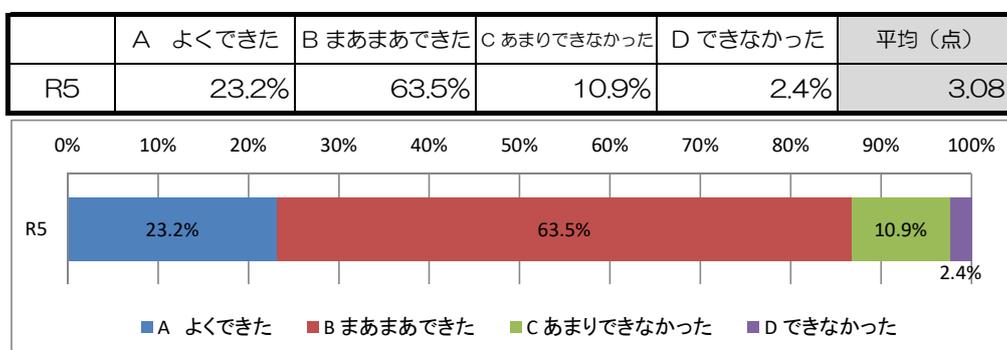


<参考> 令和5年度 保護者アンケート

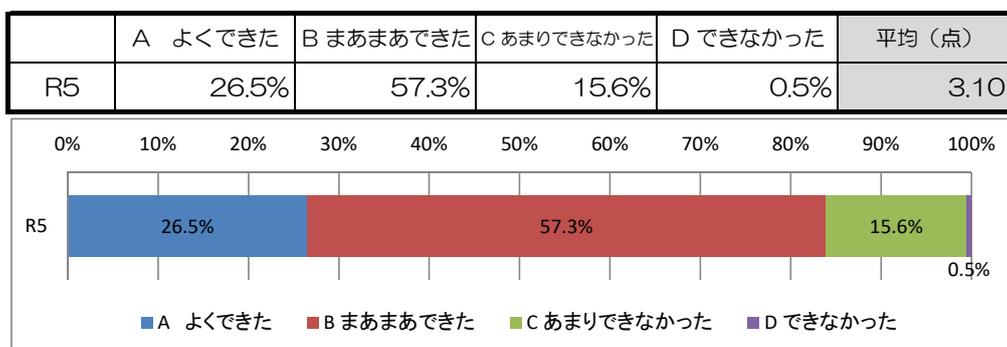
1 学校は、生徒の学力向上のために分かりやすい授業を行っている。



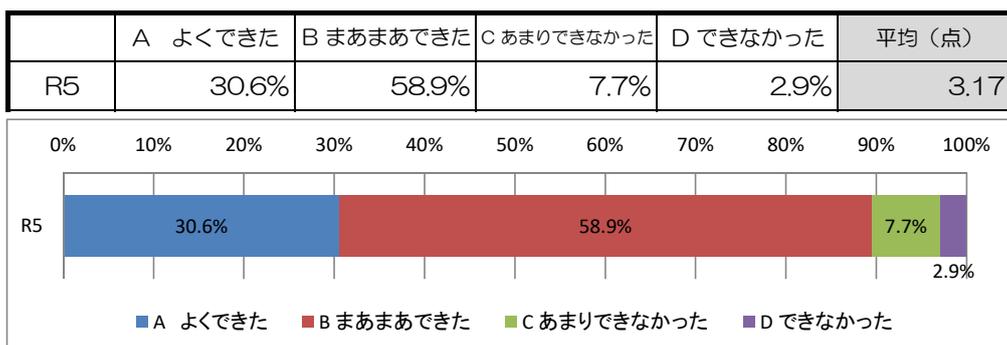
2 学校は、生徒の心の育成にしっかり取り組んでいる。



3 学校は、生徒の体力向上にしっかりと取り組んでいる。

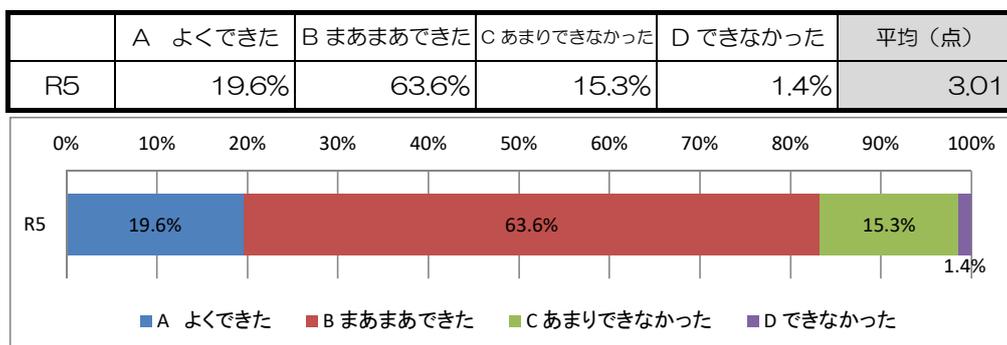


4 学校は、社会のルールやモラルについて適切に指導をしている。

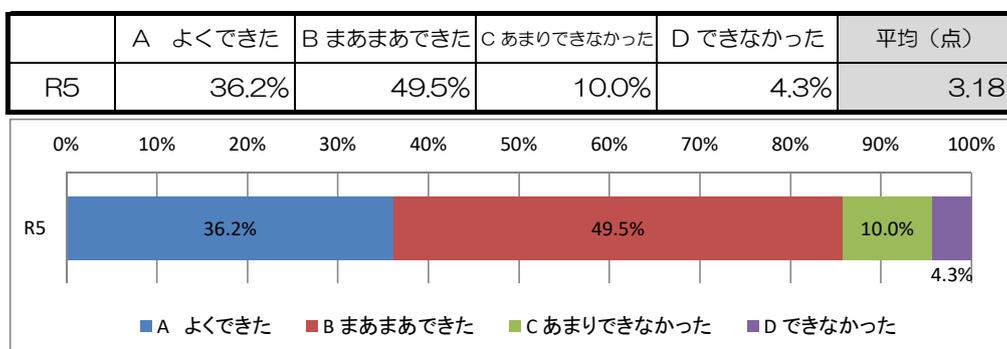


<参考> 令和5年度 保護者アンケート

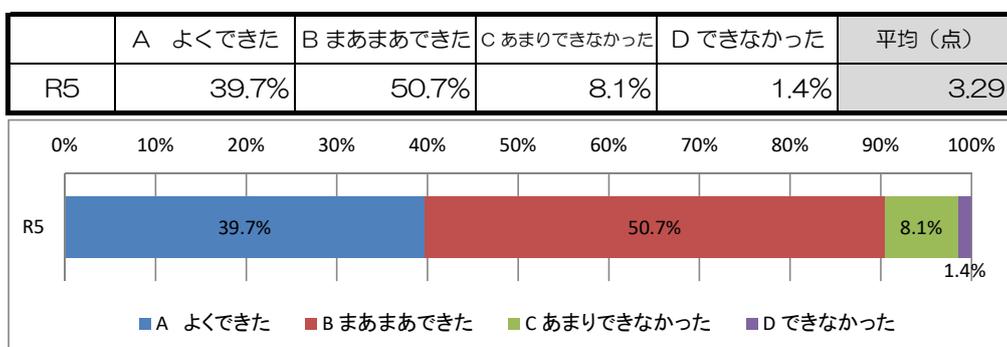
5 学校は、教育方針等を分かりやすく伝えている。



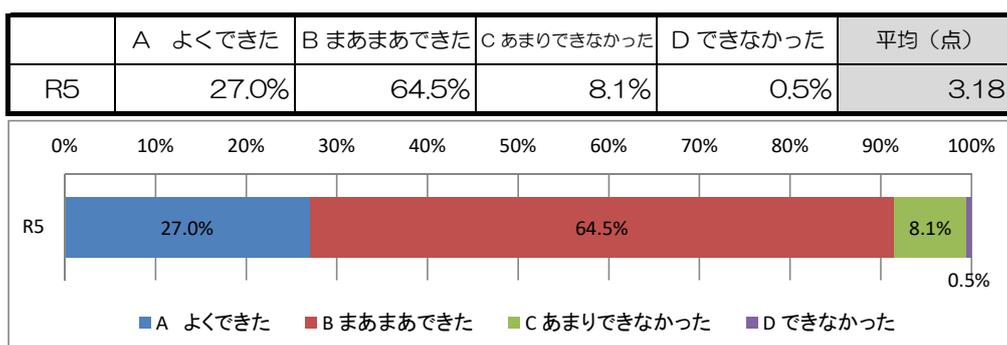
6 教職員は、生徒や保護者の相談に親身になって応じている。



7 学校は、教職員は、接遇やマナーがしっかりしている。

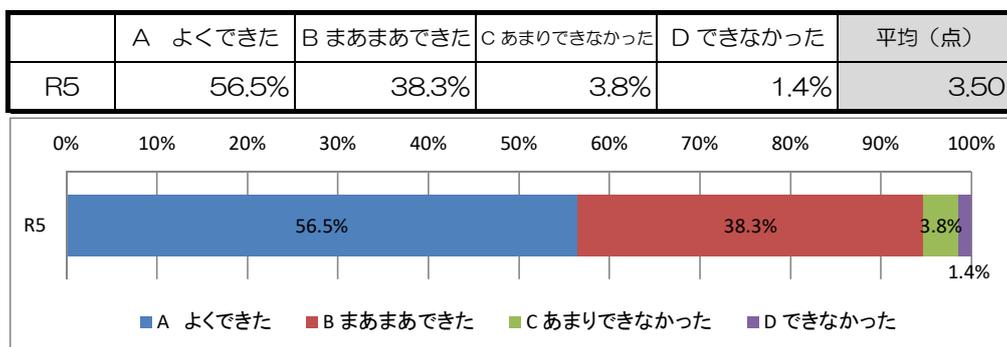


8 学校は、コミュニティ・スクールとして地域と連携している。

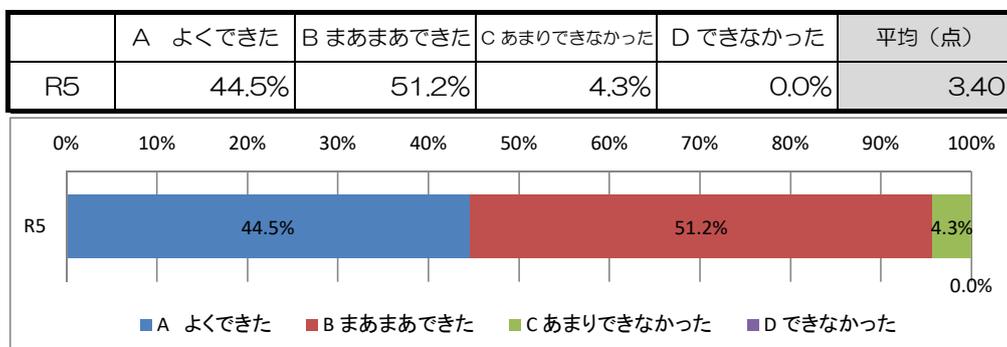


<参考> 令和5年度 保護者アンケート

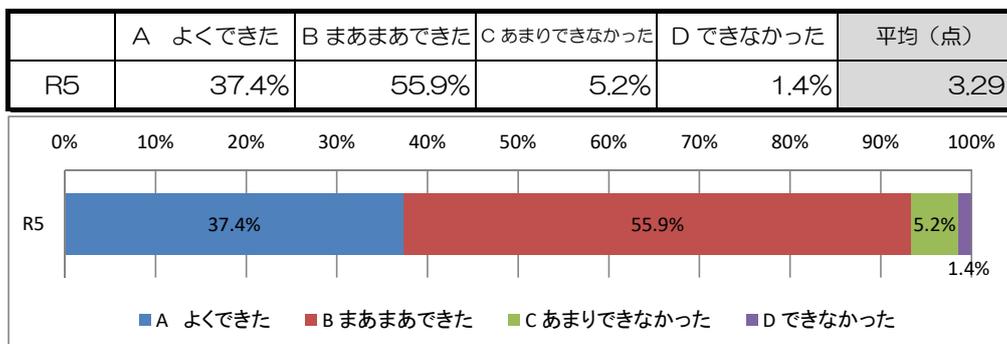
9 学校は、体育祭や合唱祭等の学校行事が適切に行われている。



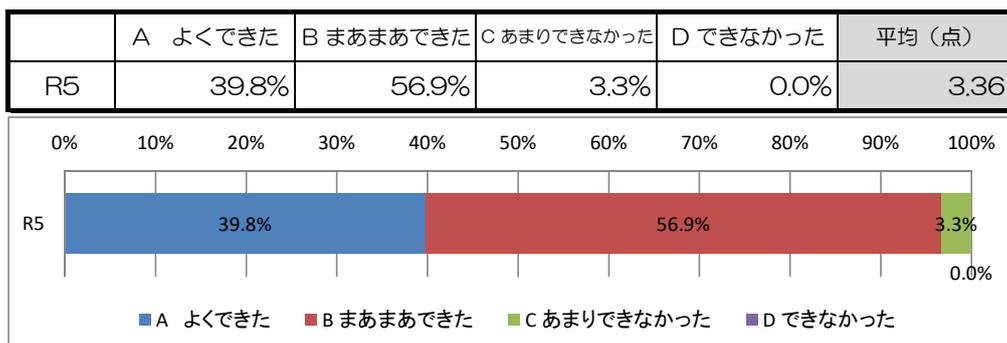
10 学校は、さくら連絡網やホームページ等の活用を含め、家庭との連携を適切に行っている。



11 学校は、雰囲気がよく、生徒が毎日楽しく学校生活を送っている。



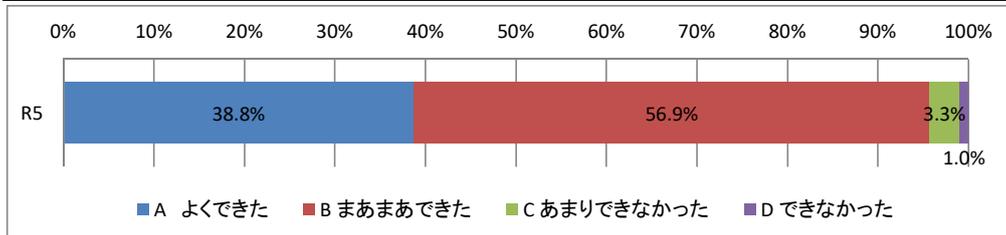
12 学校は、施設設備等の清掃がよく行き届き、管理を適切に行っている。



令和5年度 保護者アンケート

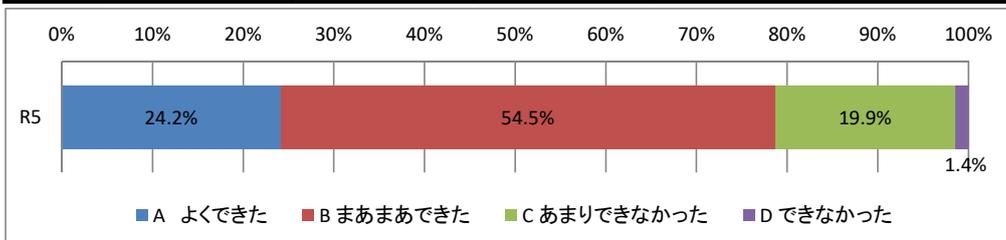
13 学校は、生徒の健康や安全、事故防止に配慮した教育活動を行っている。

	A よくできた	B まあまあできた	C あまりできなかった	D できなかった	平均(点)
R5	38.8%	56.9%	3.3%	1.0%	3.33



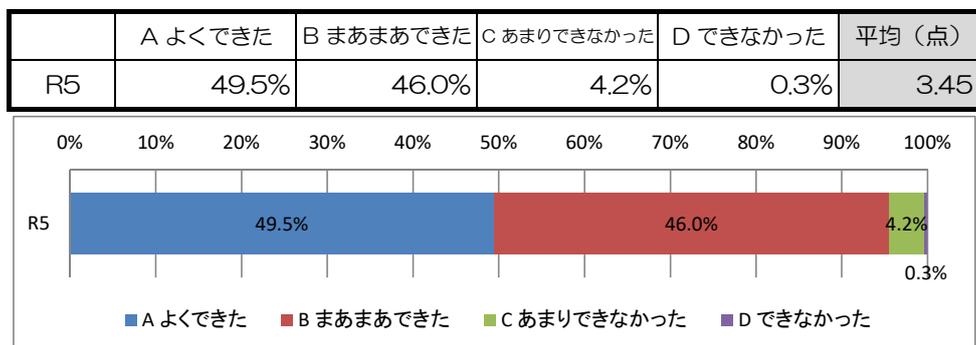
14 上尾中学校の生徒は、あいさつがよくできる。

	A よくできた	B まあまあできた	C あまりできなかった	D できなかった	平均(点)
R5	24.2%	54.5%	19.9%	1.4%	3.01

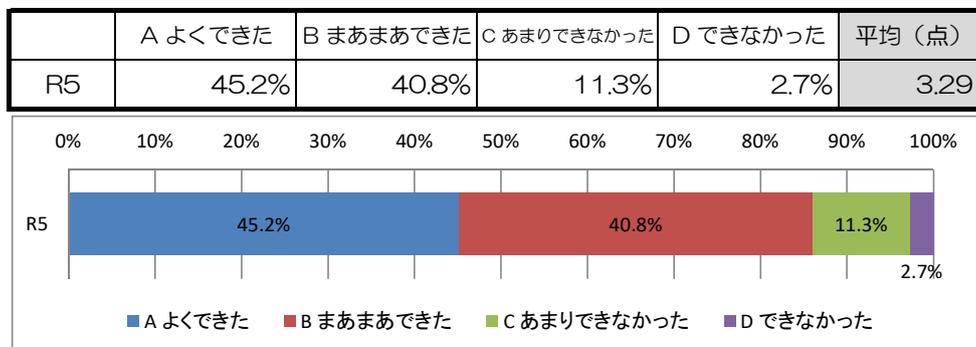


<参考> 令和5年度 生徒アンケート

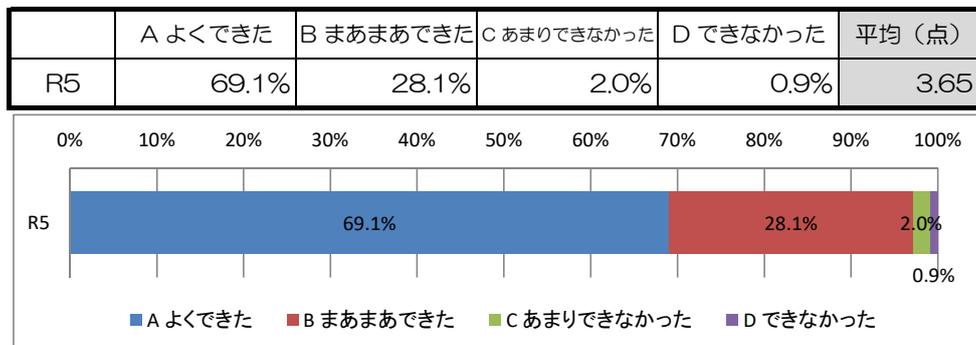
1 授業は楽しく、よくわかる。



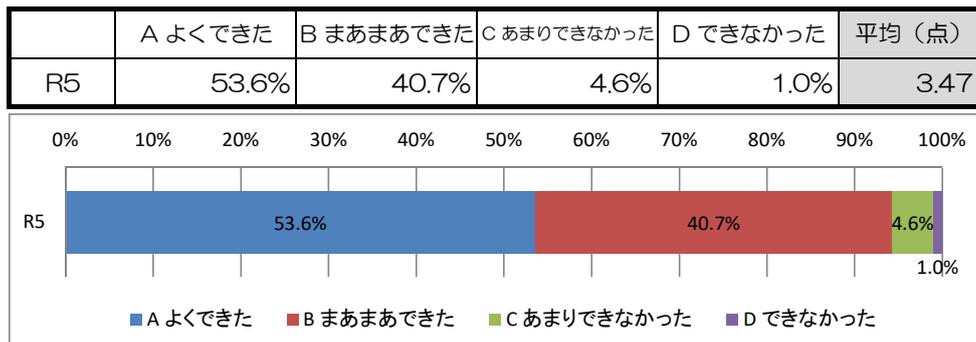
2 宿題や学習慣ノートの取組などの家庭学習がしっかりできた。



3 授業の学習にしっかり取り組んだ。

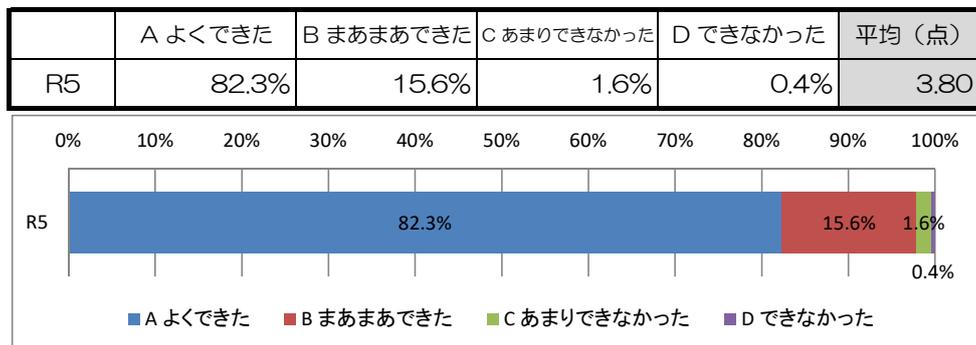


4 総合的な学習の時間などにおいて、探求的な学習に取り組めた。

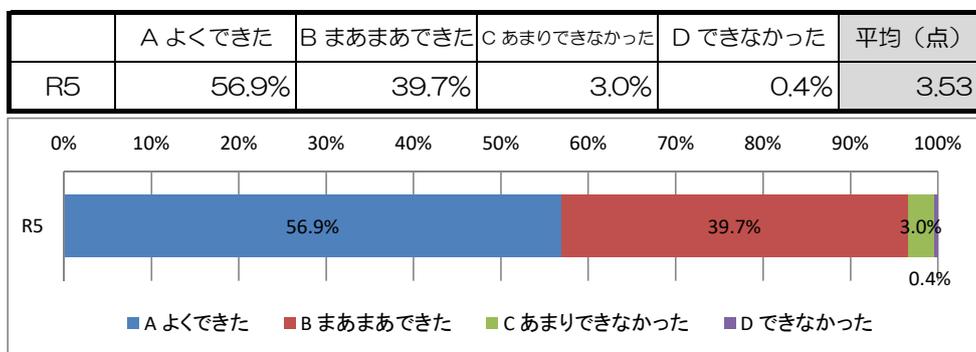


<参考> 令和5年度 生徒アンケート

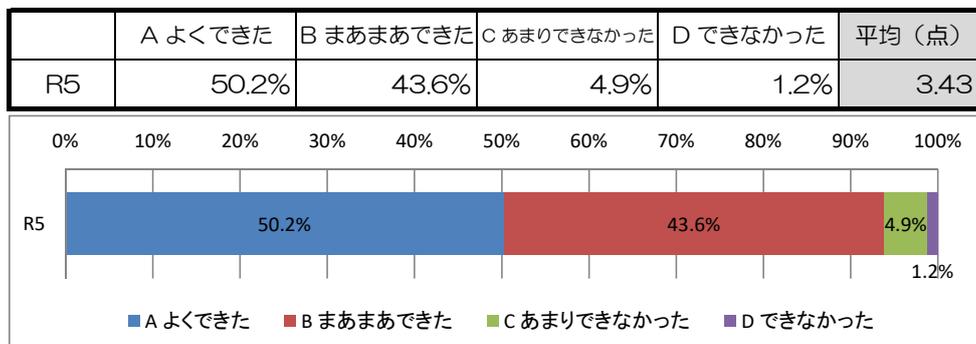
5 友だちを大切にすることができた。



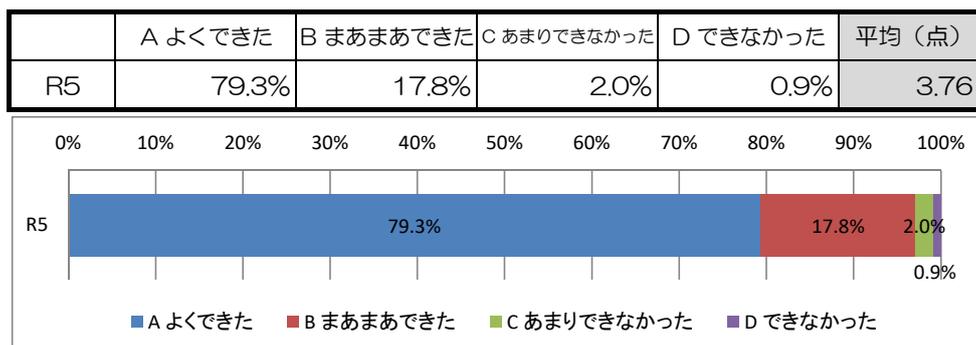
6 きまりを守り、けじめのある落ち着いた学校生活を送ることができた。



7 丁寧な言葉づかいや態度をとることができた。



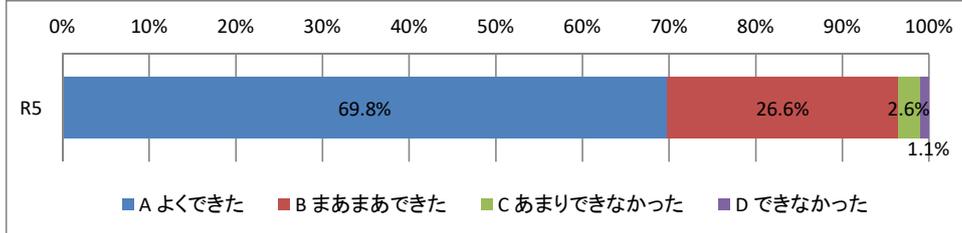
8 学校行事に積極的に取り組むことができた。



<参考> 令和5年度 生徒アンケート

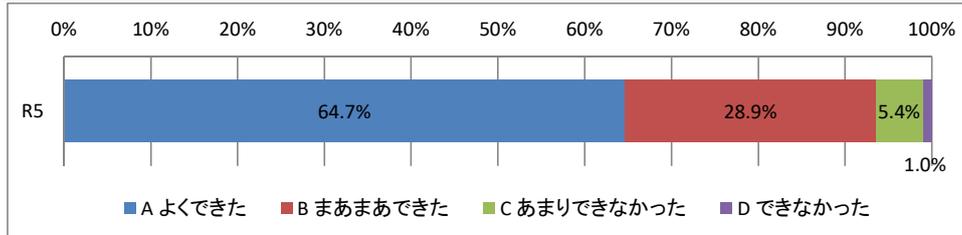
9 学級の係や委員会の取組をしっかりと行った。

	A よくできた	B まあまあできた	C あまりできなかった	D できなかった	平均 (点)
R5	69.8%	26.6%	2.6%	1.1%	3.65



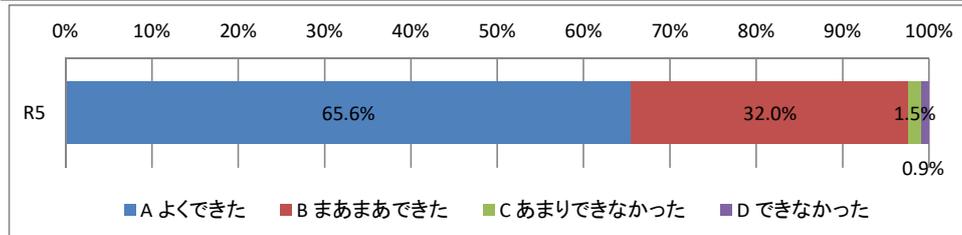
10 上尾中学校での生活に満足している。

	A よくできた	B まあまあできた	C あまりできなかった	D できなかった	平均 (点)
R5	64.7%	28.9%	5.4%	1.0%	3.57



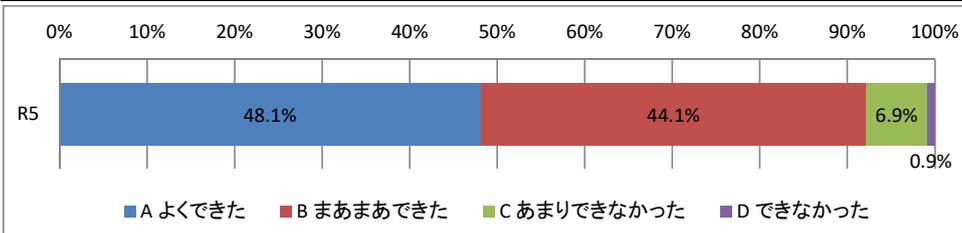
11 あいさつや返事がしっかりできた。

	A よくできた	B まあまあできた	C あまりできなかった	D できなかった	平均 (点)
R5	65.6%	32.0%	1.5%	0.9%	3.62



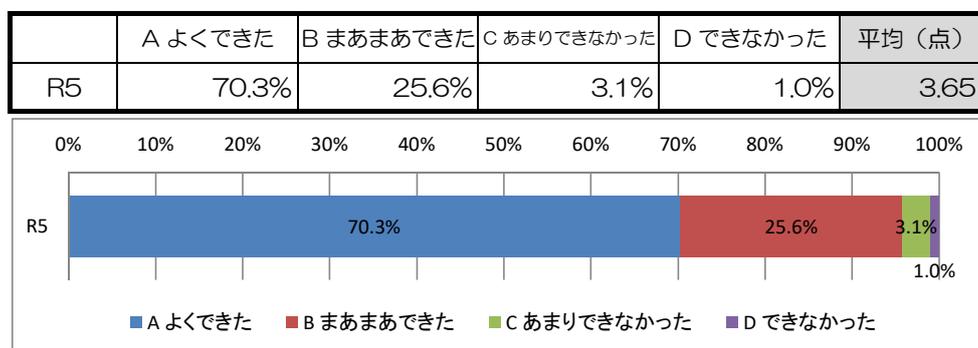
12 私語なし清掃にしっかり取り組むことができた。

	A よくできた	B まあまあできた	C あまりできなかった	D できなかった	平均 (点)
R5	48.1%	44.1%	6.9%	0.9%	3.39



<参考> 令和5年度 生徒アンケート

13 健康や安全に配慮して生活することができた。



令和5年度学校自己評価システムシート（上尾市立上尾中学校）

目指す学校像	静かで、きれいで、温かい学校 ◎確かな力を育む学校 ◎地域と共にある学校 ◎和やかで温かい学校 ◎はつらつとした学校
--------	---

重点目標	1 基礎学力及び基礎的・基本的な学力の定着を図るとともに主体的・対話的で深い学びを推進する。 2 教育相談体制を機能させ、きめ細かい丁寧な不登校対策を推進する。 3 市民・県民に誇れるコミュニティ・スクール上尾中の取組を推進する。 4 静かで、きれいで、温かい学校生活を維持・発展させる。 5 自らの働き方を見直し、持続可能で健全な職場をみんなで創る。
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	6名
	教職員	3名

学 校 自 己 評 価						
年 度 目 標				年 度 評 価 (2 月 1 日 現 在)		
番号	現状と課題	取組目標	具体的方策	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	家庭学習が定着している生徒が少ない。保護者アンケートでも家庭学習に対する評価が低い。Chromebookを生徒1台割り当てられていないことから授業中の活用に苦慮することがある。定期テスト期間のフォローアップウィークを実施し、学力の底上げを図った。	①ICTを活用した学校行事の工夫や授業改善・工夫を積極的に進める。 ②家庭学習の定着を推進する。家庭で取り組めるドリル学習を検討する。 ③提出物指導、補充的な補修学習指導、フォローアップウィークを充実させる。 ④SDGsの視点を取り入れたシティズンシップ教育を研究・実践する。	①授業でICTを活用した実践事例研修を充実させる。 ②ICTを活用したドリル学習などができる環境を整える。 ③フォローアップウィークを全校で実践し、基礎学力を定着させる。(校内研修年3回以上) ④校内組織を活性化し、SDGsの視点を取り入れた授業を実践する。	①対面授業・オンライン授業・朝会で積極的な活用活用を行った。 ②生徒の取組、教員の見取りに改善が必要である。 ③通年で検討・実践を行った。(研修年6回) ④各学年において、計画的に探究的な学習総合的な学習の時間に取り入れて実施できた。	A	PC室に3Dプリンタや電子黒板、学年フロアにはインクジェットプリンタなどが導入され、機器の操作や授業での活用法の研修が必要になる。学力低位層への支援を充実させ、底上げを図る。
2	生徒や家庭の実情が多様化し、生徒指導・教育相談・特別支援教育の対応は複数対応ができており外部機関とも連携している。学校での組織的な対応、関係機関等とのより一層の連携をとる。	⑤生徒、保護者の立場に立った、きめ細かい丁寧な相談を行う。 ⑥教育相談委員会を中心として情報共有を進め、学校全体で組織的に対応する。 ⑦関係機関、SSW、さわやか相談員、SCと連携を密にして、個々の状況に応じた必要な支援を実施する。	⑤相談室、学習室を活用する。丁寧な生徒・保護者対応を実施する ⑥教育相談委員会の内容は、回覧で全教職員に共有する。 ⑦必要な時は、ためらうことなく関係機関と連携を図り、総合的な視点から支援を実施する。	⑤生徒指導は複数対応を徹底し、組織的に支援を行った。 ⑥生徒の実態を把握し、さまざまな支援を丁寧に実施できた。 ⑦情報共有、教育相談、発達検査等を関係機関と連携して実施できた。	A	生徒が学校生活の中で気持ち折れてしまい学校に登校することが難しくなる事例が増加傾向にある。手立ては限られるため根気よく支援を続ける。
3	地域の方々と協力し、清掃活動、書店のポップデザインなど連携し実施ができた。学校運営協議会、PTAとも連携し、友垣祭、秋祭りを実施した。	⑧コミュニティ・スクールとしての積極的な情報発信を工夫する。 ⑨学校と地域が協働活動を充実させ、地域で子どもを育てる機会を増やし、教育活動を充実させる。	⑧積極的に職員会議などで情報発信する。 ⑨今までの活動は継続し、さらに地域と協力できる取組や行事等、検討を継続する。	⑧学校運営協議会での議題、内容を職員会議には3回資料と合わせて情報発信した。 ⑨例年通り、清掃活動や書店との取り組みは実施できた。その他にもゲストティーチャーとして依頼するなど、行事以外にも連携することができた。	B	コミュニティ・スクールの活動、地域との繋がりは今後も大切にする。また、職員や保護者などにも情報発信して、たくさんの方々とブラッシュアップを図る。
4	だれもが安心・安全に学校生活を送れるように、引き続き「静かで、きれいで、温かい学校」の実現を継続する必要がある。	⑩いじめの早期発見、早期対応を行い、誰もが安心できる学習環境を築く。 ⑪きれいな黒板、整った机、きれいな窓を維持する。 ⑫生徒も教師も、進んであいさつ・返事を行う。	⑩いじめ認知の共通理解からいじめ見逃しゼロを実現する。生徒指導委員会で毎週を確認する。 ⑪美化委員会を中心に私語無し清掃に取り組む。 ⑫あいさつ運動や登下校指導を行い、啓発を図る。生活委員会の授業の号令チェックを実施する。	⑩生徒指導委員会を中心に生徒の共通理解を図り、早期に対応できるようにする。 ⑪清掃時間を確保し、きれいな黒板、整った机、きれいな窓を維持する必要がある。 ⑫毎朝登校指導を実施するなど啓発活動を継続した。	A	いじめ対策は引き続き教員間で連携をとりながら未然防止と早期対応に努める。清掃がない日課が多くなったため、来年度から見直し修正をする。
5	在校時間の縮減、事務処理の軽減、成績処理等への工夫が必要である。また、仕事分担の偏りを改善するなどの対策も必要と感じている。	⑬自らのワークライフバランスを問い直し、積極的な健康管理を行う。 ⑭業務の負担軽減のため、教育活動の見直し・改善を進める。	⑬部活動休養日の増加や時程の短縮など行事計画の調整をして、業務時間の確保を行った。 ⑭テストの採点やアンケート等をデジタル化し、業務の効率化を図った。校務支援システムを有効的に活用した。	⑬スクールサポートスタッフ、ICT支援員などと協力しながら業務分担を行った。 ⑭校内研修を実施した。デジタル化したシステムを導入した。メール配信などで配布物を管理した。	B	定時退勤推奨ウィークを実施した。また、校務分担の工夫や仕事量の見直しが引き続き、課題である。

学 校 関 係 者 評 価	
実施日 令和6年2月15日	
学校関係者からの意見・要望・評価等	
<ul style="list-style-type: none"> アンケート結果より、家庭学習の項目の数値が低い。学校側から課題を出しても家庭での学習を促すことは、限界があるため、保護者の協力が不可欠となる。学校側の課題ではなく家庭への課題とし、アンケート項目として必要か来年度に向けて検討が必要になる。 働き方（ワークライフバランス）についての内容では、削減できることとして、行事の削減や業務の負担軽減などの意見が出された。対策として、行事などについては、現行よりも増加させず、PTAや地域の方々と協力できることを増やしていくことを検討する。 コミュニティスクールの活動を職員だけでなく保護者にも理解してもらえる情報発信が必要である。情報発信をして認知されるような工夫が必要である。例えば、毎回の職員会議を通して、周知することを検討する。 いくつかのアンケート項目について、CとDの評価を付けている生徒、保護者が若干名いるため、AとBになるように対策を検討していく。 SDGsの視点を取り入れたシティズンシップ教育を研究推進することは継続する。 ICTを活用した授業や行事の工夫、改善を進めるが、ネットワークや機器の不調があったときの対応に苦慮している。 	